

2月24日、第1回市議会定例会で、古川市長は令和8年度施政方針および予算提案説明を行いました。「施政方針」とは、市政運営の基本的な考え方と主な施策を示すものです。

今日は、この施政方針の一部と新年度予算の概要を紹介します。



施政方針  
全文はこちら

## 基本姿勢

### 「子育て支援の充実」「地域経済の活性化」「防災能力の強化」

### 3つの柱の推進

#### 「子育て支援の充実」

子どもに関する相談機能や母子保健・児童福祉機能、発達支援に関する機能を有し、子どもが安全に遊び、自由に交流することができる「こども・子育て複合施設」の本体工事に着手し、あらゆる子育て世代の不安や悩みを包み込むことができるファミリーフレンドリーなまちづくりの実現を目指します。

また、小学校給食については、国の交付金を活用し、実質無償化を図るとともに、保育所および中学校の食料費補助を行うことで、引き続き、保護者負担の軽減を図ります。

#### 「地域経済の活性化」

年明けに補正予算を措置した「子育て応援手当支給事業」および「地域商品券事業」を早期に実施し、市民の負担軽減とともに、市内での消費喚起と市内経済の活性化を図ります。

また2年目を迎える「にいほま営業本部」の活動を推進します。「新居浜ものづくりブランド」の積極的な売り込みや、現在進めている「七福芋」を活用した商品開発など、市内企業と一体となった営業活動の展開を通じ、本市経済の持続的発展とともに、地域の産品や製品・技術の価値とブランド力の向上に挑みます。

#### 「防災能力の強化」

少子高齢化が進展する中で、「自助・共助・公助」の役割にも変化が生じていると感じています。災害発生時、行政は「住民の命を守ることを最優先に迅速な対応を行う中で、大規模災害時には、「公助」が十分に行き届かないことが予測され、「自助」や「共助」が重要となります。しかし、近年、地域コミュニティや人々のつながりが希薄化する中で、これまで以上に「自らの命は自ら守る」という「自助」の意識の醸成が求められています。本市としても、市民一人ひとりが、防災意識をさらに高め、必要な備えを進めてもらえるよう、努めます。

一方で、市が対応しきれない部分では専門的な知識や技術を持つ民間事業者との連携が非常に重要であると考えています。本市では現在、民間事業者などの災害時応援協定を138件（※）締結していますが、今後も、市民、そして事業者と力を合わせ、地域全体の防災力向上に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

※2月24日時点

次ページからは、主要施策の概要について、第六次長期次総合計画に掲げる6つのまちづくりの目標ごとに説明します。



## 工業・商業の振興と雇用環境の充実

- ▶ 住友各社とのさらなる連携強化
- ▶ 合同企業説明会の開催や新たな人材確保策などの情報発信の充実

## 観光・物産の振興

- ▶ 「にいほま営業本部」の活動展開により、地域産品の掘り起こしとふるさと納税返礼品などの特産品の開発、七福芋（大島白いも）などの新居浜固有資源のブランド化



## 農業、林業、水産業の振興

- ▶ J-クレジット制度によるクレジット創出を開始し、クレジット売却収入を新たな財源として活用する取り組みの推進

## 安心な住宅の整備

- ▶ 次期「市公営住宅長寿命化計画」の策定

## 港湾の整備

- ▶ マリンパーク新居浜開設 30 周年を記念した周年イベントの実施

## 防災・減災対策の推進

- ▶ 県内市町と共同運用するクラウド型被災者支援連携システムの本格運用開始

## 消防体制の充実

- ▶ 南消防庁舎の新築移転および愛媛東予東部消防指令センターの併設を進め、災害情報の一元化、災害対応力を向上

## 運輸交通体系の整備

- ▶ 「市地域公共交通計画」を踏まえたデマンドタクシーの充実、バス路線の維持・再編
- ▶ 交通事業者の乗務員確保支援を開始



### 目標 3

活力とにぎわいにみち、魅力ある  
職場が生み出されるまちづくり

## 子ども・子育て支援の充実

- ▶ 健康診断や健康相談の充実、検査項目拡充への助成、不妊に悩む夫婦への支援など、母子保健サービスの強化充実
- ▶ 乳児等通園支援事業（こども・誰でも通園制度）の円滑な運用と利用促進



## 学校教育の充実

- ▶ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどとの連携を強化
- ▶ 中学校 2 校で実施中の校内サポートルームを小学校 6 校においても実施し、不登校児童・生徒への支援の推進
- ▶ 小・中学校体育館への空調設備設置

## 健康づくりと医療体制の充実

- ▶ KENPOS アプリを活用した運動習慣の定着、乳幼児期からの食育の実施などライフステージに応じた健康づくりの推進

## 地域福祉の充実

- ▶ がんの治療に伴う外見の変化による患者の心理的・経済的な負担を軽減するため、ウィッグなどの購入費用の一部を助成する「がん患者補整具等購入費助成事業」の開始

## 高齢者福祉の充実

- ▶ 重度の介護を要する高齢者を在宅で介護している家族への支援、中等度の難聴高齢者を対象とした補聴器購入費の補助、見守りの必要のあるひとり暮らし高齢者に対する見守り推進活動の実施



### 目標 1

未来を創り出す子どもが  
育つまちづくり

### 目標 2

健康で、いきいきと暮らし、  
支えあつまちづくり

### 目標 4

安全・安心・快適を実感できる  
まちづくり

## 人口減少対策とシティブランド戦略の推進

- ▶ 「市シティブランド戦略」に基づき、市民がまちへの誇りと愛着を持てるまちを目指す
- ▶ 学生版全国「にはま倶楽部」や「移住体験ツアー」などによる若年層の定着と移住促進

## 開かれた市政の推進

- ▶ テレビ放送を活用した広報番組などを通じた市政への理解促進・市の魅力向上

## 効果・効率的な自治体経営の推進

- ▶ 中間見直し後の長期総合計画に基づいた各種施策の実施

## ICTの活用と市民サービスの向上

- ▶ 市民の利便性を高めるスマホ市役所に向けた取り組みや期日前投票所の充実、AIなどを利用した新たな市民サービスの構築に向けた検討

## 計画の推進

## 持続可能なまちづくりの推進

## 文化芸術・スポーツの振興

- ▶ 質の高い演奏や実技指導が受けられるよう市内小中学校を対象としたアウトリーチの充実
- ▶ 各種全国大会出場奨励金を拡充
- ▶ 10回目の節目を迎える「新居浜あかがねマラソン」の開催

## 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実

- ▶ 旧広瀬邸の修理・耐震工事に向けた実設計



## 地域コミュニティの充実

- ▶ 宮西校区で先行運営している地域運営組織の支援および今後の方向性の検討

## 地球環境の保全と継承

- ▶ 「第3次環境基本計画及び環境保全行動計画」「市地球温暖化対策地域計画」「エコアクションプランにはま」に掲げた施策の推進

## 生活環境の保全と調和

- ▶ 公共下水道整備区域外のくみ取り便槽および単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽への転換を推進

## 循環型社会の実現

- ▶ 西条市とのごみ処理施設の広域化・集約化に関する基本構想の策定

## 上下水道事業の推進

- ▶ 上・工・下水道事業一体でのウォーター P P P を含む包括的民間委託の導入など官民連携の推進・組織体制の見直し



## 目標5

人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり

## 目標6

人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり

## 結びに——

人口減少社会の中にあっても、限られた資源を最大限に活用しながら住民ニーズに的確に応え、将来にわたり持続可能なまちづくりを実現していくためには、「スマートシュリンク」、つまり「賢く縮む」という発想が不可欠だと日々考えています。

これから私たちが直面する時代は、経済規模や利便性のみを追求するだけでは将来の豊かさが保証されるものではありません。成長社会の中で培われてきた価値観を見つめ直し、時代にふさわしい新たな価値観へと転換していくことが求められます。

また、来年は市制施行90周年という大きな節目の年を迎えます。それは過去を振り返ると同時に、その先の100周年を見据えた「土台作り」がスタートする年でもあります。

住んで、働き、子育てをして、笑顔で暮らせるまち、そんな確かな「日常」を提供し続け、新居浜だからこそ描ける夢と希望が輝く「未来」を創造していくこと。それが100周年に向けた私の目標であります。

市民の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご協力をお願いします。